産業人クラブだより ―かけはし―

産業人烈伝

身の丈に合った経営

新富士空調・梶野勇社長 ㊤

振り返れば18歳で溶接工として入社し、今日まで56年間、空調ダクト業界に携わってきた。「企業は人なり、お客さまがいて、社員がいるから会社が成り立つ」と考え、日々アイデアと新しい価値観の創出に向けて仕事に励み、近年は環境配慮型空調ダクト開発、市場投入した。私は身の丈に合った経営で良い品物を安く提供し、社会が必要とする会社に成長することが会社存続の道だと信じてやまない。

当社の前身は1952年に東京都北区に設立した富士製作所だ。工場が手狭になり、61年に1万6500平方㍍の土地を取得し埼玉県鴻巣市に工場を開設。63年に同工場が富士製作所から独立し富士空調工業が誕生した。

両社は、リーディングカンパニーとして切磋琢磨（せっさたくま）し、空調ダクト業界をけん引した。87年にオーナーが亡くなった後の約20年間は資本と経営が全く別となり、今から思えば中小企業にとしては珍しい経営体制が続いていた。

一生、忘れられない出来事は突然、訪れた。当時、富士製作所社長で富士空調工業の専務だった私は、95％強の株式を保有するオーナー一族が株式売却に向けて動き出したことを知る。買収を仕掛けてきたのはダクト業界とは関係のない不動産会社。真っ先に浮かんだのは社員一人ひとりの顔だ。

このままでは間違いなく会社はなくなる。社員や家族が路頭に迷う。どうにかして社員を守らなければならない。この一心で買収に向けた話し合いが進む中、私ただ一人買収に異議を唱えた。社員を、会社を思い必死に説得したが、交渉は難航。何度も何度も説得されたが、丁重に断り、社員を守るために決して首を縦に振らなかった。

買収を阻止するためには、オーナー一族から株式を買い取り、同族経営から脱却するしかないと思った。考えに考え抜いた結果、MBO（経営者・従業員による企業買収）の実施を決意した。

MBOといっても当時買収に必要な金額は手元になく、資金調達に走った。株主であるオーナーとの折衝は先が見えず身も心も疲れ切っていた。

（全3回）

（埼玉県鴻巣市）

当時の事を思い出すと何とも言えない気持ちになる…と梶野社長

トップインタビュー

若手経営者の育成強化
新たな活路見いだす

東京産業人クラブ会長（愛知産業社長）
井上　裕之氏に聞く

東京産業人クラブ会長は井上裕之愛知産業社長が選出された。「大変な年に会社の社長が務めてきたが、2011年6月の総会で初めて会員からの会長として事務局である日刊工業新聞社の社長に就任した。会員の中小企業などが新たな活路を見いだせるような企画を打ち出していく」と意気込む。

（井上雅太郎）

◇

―会長に就任して半年が経過しました。

「昨年は大変な一年だった。3月11日に東日本大震災が発生した。秋にはタイで大洪水が起きた。またギリシャに端を発し欧州各国に波及する世界規模の金融危機の不安が生じた。長期にわたるデフレ問題を抱えている日本にとってはより深刻で、この苦境から抜け出す手だてが見つからない」

―大震災は原子力発電所の事故ももたらしました。

「新しいエネルギー政策について展望が開けない。原子力発電は事故により今後の望みを絶たれた形だ。原発は設備のハードと運用のソフトが一体化した技術だけに、再興していくのは容易ではない。再生可能エネルギーが注目されているものの、太陽光、風力、地熱などいずれにしても、国内需要を支えられるほどの供給を確保するのは簡単なことではない」

―震災の影響が残る中、経済活性化のカギは。

「大震災によりサプライチェーンの崩壊が起こり、国内の経済・生産を支えているのが中小企業だということがあらためて分かった。国内のモノづくりに活力を持たせるため、経営、技術、雇用が一体となって知恵を出していかなければならない。震災復興需要などの〝つなぎ〟があるうちに、中小企業が新たな技術開発を進められるような環境づくりが必要。中小が開発した技術を商社などを通じて直接販売に結びつけるスキームがあっても良い。幅広い販売網を持つ商社に中小企業の技術をマッチングさせる機会があまりなかった」

―今後の産業人クラブの事業展開については。

「若手経営者の育成を強化したい。現在の主要メンバーを見ても、世代交代の時期に入ってきたようだ。クラブに新しい意見を採り上げていって活性化につなげるような仕組みづくりを進めたい」

いのうえ・やすゆき　59年（昭34）慶大法卒、同年愛知産業入社。常務、副社長を経て76年社長。79年国民工業振興会理事長、02―10年東京商工会議所副会頭（現特別顧問）のほか、日本商工会議所特別顧問などを務める。東京都出身、75歳。

小さくても本物

流体ゼロ・リーク挑戦

名古屋　アイシー

アイシー（名古屋市名東区、永津弘喜社長、052・778・0700）は、流体シールや表面処理剤を専門に扱う販売会社。同社の製品は自動車や製鉄、化学、食品、製紙など幅広い業界に需要があり、各企業の生産効率向上や設備保全に威力を発揮している。

永津社長が1979年に米国の流体シール専門メーカーのチェスタートンの直輸入代理店として、流体シールの販売と付帯工事事業を始めたのがルーツ。アイシーという社名は、会社の経営方針を示す「Innovation Consulting（イノベーション・コンサルティング）」の頭文字とか。メカニカルシール、パッキン、油空圧シールや洗浄剤、潤滑剤、表面補強剤、ポンプなどを扱う。

同社は「顧客との信頼関係」に重点を置き、顧客が抱える問題点の分析・改善案を提供するのが専門の「シール診断のスペシャリスト」が設備を総点検し、顧客と二人三脚でサポートと改善を行う。技術情報と具体的な対策案を共有する「技術セミナー」を定期開催しているほか、要望に合わせたインプラントセミナーを実施中だ。

「流体のゼロ・リークへの挑戦」を掲げ、「機器の正常作動期間の延長」、「回転機器の診断計測による問題の解決」、「バルブやフランジからの気化漏れ防止策」に取り組んでいる。

流体シールなどの製品群

トピックス

海外工場の技術向上

茨城　日立工機

日立工機はドリルやチェーンソーなど約1000機種を製造する電動工具メーカー。小売店など国内市場向けは、工具の外枠などを製造する勝田工場（茨城県ひたちなか市）と部品加工や部品の組み立てを行う佐和工場（同）の2工場を中心に製造している。「最近は東日本大震災後の復興需要で活発化してきている」（宮田幸治専務）ものの、国内需要はほぼ飽和状態。「需要は東南アジアやブラジル、ロシアなど新興国にある」（同）ことから、調達や研究開発拠点でもある両工場をマザー工場に位置づけ、海外工場の強化に乗り出している。

その取り組みの一つが欧州、北・中南米、アジアなどに点在する海外工場の技能者の技能水準の向上だ。海外の各工場にはすでに技能教育制度を導入しているほか、年1回の改善事業発表会に海外工場からも参加してもらうなど、技術水準の均一化を進めている。それでも「円高を背景に海外でも難易度の高い製品が求められており、これに見合った体制を構築する必要がでてきた」（宮田専務）。

そこでまず国内のマザー工場で働く30―40代を中心とした幹部候補者向けに早ければ2012年度に「技能道場（仮称）」を導入し、国内技術者の技能水準を引き上げる。その一方で将来は道場の経験者を海外に出張させ、海外工場の技術者を教育していく考えだ。

電動工具を組み立て製造している佐和工場

1―2月の予定

【1　月】

◇**13日（金）新潟産業人クラブ**「新年会」演題：「中国と新潟県のビジネス・交流の実情と展望」講師：中国駐新潟総領事・王華氏（新潟市中央区、新潟グランドホテル）

◇**17日（火）中国四国産業人クラブ**「新春互礼会・講演会」演題：「社員教育について」講師：広島管財社長・川妻利絵氏（広島市中区、リーガロイヤルホテル広島）

◇**18日（水）埼玉産業人クラブ・NITEC埼玉産学交流会**「2012年新春賀詞交歓会」（さいたま市浦和区、浦和ロイヤルパインズホテル）

◇**18日（水）城北産業人クラブ**「2012年新春講演会・新年会」（東京都千代田区、霞山会館）

◇**18日（水）大阪産業人クラブ**「2012年新春互礼会」（大阪市北区、ANAクラウンプラザホテル大阪）

◇**19日（木）東京産業人クラブ・日刊工業新聞社**「2012年新春講演会および賀詞交歓会」（東京都千代田区、ホテルグランドパレス）

◇**24日（火）山形産業人クラブ**「新年例会・講演会」演題：「グローバル競争下における今後のモノづくり産業のゆくえ」講師：山形大学産学連携教授・柴田孝氏（山形県上山市、日本の宿　古窯）

◇**26日（木）いわき産業人クラブ**「2012年新春講演会・合同新年会」演題：「私にとっての阪神淡路大震災とは」講師：アテーナソリューション社長・立石裕明氏（福島県いわき市、パレスいわや）

◇**26日（木）神奈川産業人クラブ**「賀詞交歓会・セミナー」（横浜市西区、横浜ベイシェラトンホテル＆タワーズ）

◇**30日（月）東京産学交流会**（サザンクロス）「2012年賀詞交歓会と新春講演会」（東京都大田区、三井ガーデンホテル蒲田）

【2　月】

◇**1日（水）千葉産業人クラブ**「2012年新春経済講演会・賀詞交歓会」（千葉市中央区、三井ガーデンホテル千葉）

◇**1日（水）名古屋産業人クラブ**「2012年新年賀詞交歓会＆経済講演会」（名古屋市中村区、名古屋マリオットアソシアホテル）

◇**1日（水）東京産業人クラブ・女性部会**「2月例会」演題：「最近の中小企業政策について（仮題）」講師：中小企業庁長官・鈴木正徳氏（東京都千代田区、KKRホテル東京）

◇**1日（水）掛川産業人クラブ**「愛知県企業視察会」（愛知県武豊町、斎藤工業）

◇**3日（金）宮城産業人クラブ**「2012年新春講演会・交流会」演題：「東北地域の現状と今後の発展の方向性について（仮題）」講師：東北経済産業局長・豊国浩治氏（仙台市青葉区、ホテルメトロポリタン仙台）

◇**3日（金）宮城、山形、福島、いわきの各産業人クラブ**「キャンパスベンチャーグランプリ東北表彰式・記念パーティー」（仙台市青葉区、ホテルメトロポリタン仙台）

◇**3日（金）栃木産業人クラブ**「2012年賀詞交歓会」（宇都宮市、ホテル東日本宇都宮）

◇**6日（月）茨城産業人クラブ**「経済講演会・賀詞交歓会」演題：「グローカル展開で活路を見出す日本のモノづくり企業」（水戸市、水戸京成ホテル）

◇**7日（火）埼玉産業人クラブ**「2012年新春賀詞交歓会」演題：「白洲次郎、松下幸之助に学ぶ　危機に強いリーダー」講師：北康利氏（さいたま市中央区、ホテルブリランテ武蔵野）

◇**8日（水）群馬産業人クラブ**「2012年新春講演会・賀詞交歓会」（前橋市、前橋商工会議所）

◇**8日（水）埼玉産業人クラブ**「分科会」講師：三菱電機関越支社長・井口明夫氏（さいたま市浦和区、日刊工業新聞社さいたま総局）

◇**8日（水）岐阜産業人クラブ**「2012年新春経済講演会と懇親会」（岐阜市、岐阜都ホテル）

◇**8日（水）大阪産業人クラブ**「社会保険セミナー」（大阪市中央区、日刊工業新聞社大阪支社10階）

◇**9日（木）―10日（金）日本産業人クラブ連合会**「全国若手経営者交流会　in　掛川」（静岡県掛川市周辺、ヤマハ掛川工場、榛葉鉄工所、アルモニコスほか見学）

◇**13日（月）―15日（水）日本産業人クラブ連合会**「沖縄県産業視察ツアー」（那覇市や沖縄市ほか、大垣精工、日邦メタルテック、全日空沖縄貨物基地など視察）

◇**16日（木）新潟産業人クラブ**「社長会」演題：「話のタネに役立つ〝新潟〟〝越後人〟の面白知識」講師：新潟方言郷土史研究家・大田朋子氏（新潟市中央区、新潟市歴史博物館みなとぴあ）

◇**18日（土）大阪産業人クラブ**「女性部会」（京都市左京区、京都・つる家）

賀詞交歓会に400人が参加

埼玉・川口鋳物工業協組

埼玉産業人クラブ会員の川口鋳物工業協同組合（埼玉県川口市）は10日、川口鋳物工業政経研究会（同）との共催で川口市の市民ホール・フレンディアで2012年賀詞交歓会を開いた（写真）。岡村幸四郎川口市長や組合員企業関係者ら約400人が参加した。

あいさつした伊藤光男川口鋳物工業協組理事長は「日本の製造業に逆風が吹いている中、原材料価格の高止まりなどにより、国内鋳物業界は特に厳しい状況にある」とし「だからこそ、ナンバーワンの技術や納期対応などを追求すべきだ」と述べた。

永井嘉吉記念賞にスタイの山本社長

名古屋産業人クラブ

名古屋産業人クラブ（内藤明人会長＝リンナイ会長）は2011年12月22日に、名古屋市中村区の名鉄グランドホテルで永井嘉吉記念賞選考委員会（内藤明人委員長）を開き（写真）、「第28回永井嘉吉記念賞」の受賞者にスタイ（愛知県蒲郡市）の山本光男社長を選出した。同賞は名古屋産業人クラブ2代目会長で元新東工業会長の故永井嘉吉氏の遺産を基金とする顕彰制度。毎年、クラブ会員の中から優れた経営手腕を発揮した中小企業経営者を一人表彰している。

山本社長は78年に創業して以来、鋳造品の製造過程で発生する鋳鬆を含浸液で埋めて修復する含浸加工を手がけ、ニッチな分野にもかかわらず会社を順調に発展させた。さらに、新しい含浸液の開発を進めると同時に、加工時の洗浄排水を水と含浸液に分離して再利用するなど環境に配慮した取り組みが評価された。

授賞式は2月1日に名古屋市中村区の名古屋産業人クラブの新年賀詞交歓会で行う。

日本工大の平栗研究室を訪問

NITEC埼玉産学交流会

埼玉産業人クラブ・NITEC埼玉産学交流会（長谷川勉会長＝長谷川鉄工所社長）は2011年12月21日に、埼玉県宮代町の日本工業大学で12月例会を開き、平栗健史電気電子工学科准教授の研究室を訪問した（写真）。

平栗准教授は、ワイヤレスネットワークを専門に、無線通信のアクセス制御や、モバイル端末の省電力化と利便性向上に関する研究に取り組んでいる。講義では電波の定義や、無線LANの種類といった基本的事項から、将来的に無線がどう活用されるかを展望した。

講義後は研究現場を訪問し、学生が短距離無線通信規格の一つ「ZigBee（ジグビー）」を使った実験や、無線で人間の健康状態を把握するシステムを披露。参加者からは「どれくらいの距離まで通信できるのか」「実用化してほしい」などの意見が飛び交った。

平栗准教授は「災害時を踏まえ、どんな時でも電波を受信できる環境作りを進める必要がある」と述べ、研究の重要性を指摘した。

日本産業人クラブ連合会会長（日刊工業新聞社社長）

井水　治博

〝絆〟大きな力に

全国の産業人クラブ会員の皆さま、明けましておめでとうございます。本年も産業人クラブの活動に一層のご参加、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

さて、わが国産業界は昨年、東日本大震災の打撃を受け、一時は大変困難な状況に陥りました。しかし、復旧・復興に向け、さまざまな「絆（きずな）」が生まれた結果、予測を上回るスピードで回復を果たしました。

全国各地に存在する産業人クラブは、それぞれが活発な独自の活動を行っています。産業人クラブ会員間の絆は年々強くなっていると言えます。これに加え、各産業人クラブが交流することによる絆が生まれてくれば、さらに大きな力になるでしょう。

日本産業人クラブ連合会では今年も産業人クラブ間、会員間の交流をさらに拡大し、わが国産業界の発展につなげられるよう全力を尽くしてまいります。

ご支援のほど、重ねてお願い申し上げます。

人事・機構改革

機械

ジェイテクト（1月1日）【機構改革】住宅機器事業を強化するため、工作機械・メカトロ事業本部に「ホーム事業室」を新設

【人事】▽工作機械・メカトロ事業本部ホーム事業室担当を兼務　執行役員工作機械・メカトロ事業本部トヨタ部、設計品質監査室、工作機械技術部、ユニットシステム技術部担当植竹伸二

〈人事・総務機能〉▽法務部長兼コンプライアンス推進室理事（法務部主幹兼コンプライアンス推進室主幹）宮下徹

〈営業本部〉▽営業統括部長兼経営企画部主幹兼関連事業部主幹（営業統括部副部長）営業統括部コンプライアンス推進グループ長佐山隆志▽ステアリング営業推進部長兼営業企画部企画室自動車企画グループ主幹（自動車軸受・駆動営業推進部長）商品企画部主幹安積一也▽自動車軸受・駆動営業推進部長（東日本支社副支社長兼第1営業部長）亀尾善健▽第1豊田支社第2営業部長兼商品企画部主幹（ステアリング営業推進部長兼統括グループ長兼第3グループ主査兼営業企画部企画室自動車企画グループ主査兼商品企画部主査）松田浩一▽関西支社第3営業部長兼第2営業課長（工作機械・メカトロ営業推進部主幹兼販売促進グループ長）兼営業企画部統括室CSグループ主幹・今川則行▽東日本支社第1営業部長（産機・市販営業推進部）一般産機グループ主査）津田芳久▽第2豊田支社第2営業部長（第2豊田支社第2営業部主査）伊原正

〈調達機能〉▽調達統括部長（調達統括部グローバル調達企画室兼調達グループ長）山田達二

〈ステアリング事業本部〉▽試作部長兼管理室長（要素開発部インタミ技術室長）植田博二▽西部テクニカルセンター長、設計品質監査室主査を兼務　西部テクニカルセンター第2開発室長佐々木裕人▽奈良工場製造技術部長を兼務　製造技術部第2技術課長森本和久▽奈良工場第2製造部長（生産技術本部ステアリング生産技術部管理グループ長兼生産技術企画部企画室企画グループ主担当）太田昭生▽花園工場製造技術部長（花園工場製造技術部設備管理課長）塩野雅之▽豊橋工場工務部長（富士工機工出向）坂口斎▽同製造技術部長（ジェイテクト・オートモーティブ・チェコ出向）米田聡▽同製造部長（奈良工場第2製造部長）住田司郎

〈軸受・駆動事業本部〉▽田戸岬工場工務部長（田戸岬工場工務部主査）稲垣信行▽国分工場製造技術部長（国分工場製造技術部第2技術課長）岡崎晴行▽同第2製造部長（同品質管理部第3品質課長）朝本耕作▽徳島工場品質管理部長（光洋マニュファクチャリング・フィリピン出向）渕本一昭▽同第1製造部長（徳島工場第1製造部鍛造課長）折部浩史▽同第1製造部長（光洋アメリカ出向）藤本佳正▽同第2製造部長（香川工場製造部長）石川智彦

〈工作機械・メカトロ事業本部〉▽ホーム事業室長（工作機械技術部主幹）小山正▽工作機械技術部長（ユニットシステム技術部長）岡安高雄▽ユニットシステム技術部長（工作機械技術部標準機開発室長）井土雅裕▽刈谷工場工務部長（刈谷工場工務部日程課長）野呂徹▽豊ハイテック出向（工作機械・メカトロ事業本部工作機械技術部長）佐野昭一▽捷太格特中国投資兼捷太格特上海国際貿易出向（営業本部営業統括部長兼経営企画部主幹兼関連事業部主幹）藤田大作▽ジェイテクト・タイランド出向（ステアリング事業本部試作部長）細井誠▽ジェイテクト・ソナ・オートモーティブ・インディア出向（ステアリング事業本部西部テクニカルセンター長兼設計品質監査室主幹）阪本恵一

ユーシン精機（1月16日）▽開発本部特機開発部責任者（製造本部技術部責任者）鈴谷英紀

電機

パナソニック（1月1日）【機構改革】①海外企画グループの海外事業戦略企画機能を新グローバル&グループ本社関連部門へ、マーケティング戦略機能をグローバルコンシューマーマーケティング部門へそれぞれ移管する②技術品質本部の3センター体制を安全・品質統括センターと技術品質ソリューションセンターに再編する③パナソニック、パナソニック電工、三洋電機の共通技術専門機能を集約し解析センターを新設する④調達本部の全社集中契約センターの原材料・デバイス集中契約機能をトレーディング社傘下の原材料ビジネスユニット、デバイスビジネスユニットにそれぞれ移管する⑤トレーディング社と傘下の原材料ビジネスユニットを、デバイスビジネスユニットをそれぞれ調達ビジネスユニットに名称変更し調達本部傘下に置く⑥デザイン企画グループの機能をデザインカンパニーに一元化する⑦法務・契約業務を各ドメインへ移管する⑧CITAプロセス推進センターをコーポレート情報システム社傘下に新設し、CITA行政のライン機能の一部を情報企画グループから移管する⑨先行デバイス開発センターをデバイス・システム開発センターに名称変更する⑩材料プロセス技術強化のため、材料・プロセス開発センターを新設する⑪次世代太陽電池開発を加速するため、次世代エナジーデバイス開発センターを新設する⑫マテリアルサイエンス解析センターの材料解析機能などを材料・プロセス開発センターに、モノづくり基盤強化に向けた分析・解析機能を解析センターにそれぞれ移管する⑬くらし環境開発センターをエナジー変換システム開発センターに名称変更する⑭ソリューション担当役員室を新設する⑮グループ設備・環境エンジニアリング事業と販売部門を集約する⑯国内外のCS機能をCS本部に集約し、グローバルコンシューマーマーケティング部門傘下に置く⑰北米本部、中南米本部、欧州本部、CIS中近東アフリカ本部、アジア大洋州本部、中国・北東アジア本部ならびにブラジル総括部、ロシア本部、インド総括部の機能をグローバル本社、グローバルコンシューマーマーケティング部門、ソリューション分野ドメインなどへ移管する

【人事】〈AVCネットワークス社〉▽常務技術統括センター所長（技術統括センターAVC知的財産権センター所長）豊田秀夫▽コンシューマープロダクツ事業グループ長ムービービジネスユニット商品技術グループマネージャー）沢田宣明▽常勤監査役員（トレーディング社社長）藤田昌伸

〈アプライアンス社〉▽副社長技術担当兼技術本部長兼先行技術開発センター所長（AVCネットワークス社副社長技術統括センター所長）今井淳▽同ホームアプライアンス事業グループ長（パナソニック電工上席執行役員電器事業本部長）西原直▽ビューティ・リビングビジネスユニット（同電器事業部ビューティ・ライフ事業部長）田岸弘幸

（**パナソニック人事つづく**）